

◆ 財団主催シンポジウム開催のご報告 ◆

2016年11月11日(金)、丸の内MY PLAZA ホールにて、当財団主催シンポジウム「ストップ介護離職2－仕事を続けながら認知症の家族と暮らす－」を開催しました。当日は、162名の方にご参加いただき認知症に対する理解を深め、また介護を体験された方から貴重なお話を伺うことができました。なお、概要につきましては本文10、11ページをご覧ください。

◆ 学会発表 ◆

(*は財団研究員)

2016アメリカ老年社会学会 (2016.11.18～19)

ポスター発表

中島民恵子 (Rutgers University)・渡邊大輔 (成蹊大学)・澤岡詩野*・大上真一 (国際長寿センター)
:「What approaches encourage the elderly to do volunteer activities? (高齢者のボランティア活動を促進する要因とは)」、「What kinds of group activities for the elderly promote an interest in more community involvement? (高齢者の地域への関わりを促すグループ活動とは)」

健康心理学会第29回大会 (2016.11.20、岡山大学)

ポスター発表

島田今日子 (田園調布学園大学)・兪今* :「社会的孤立者に対する有効な支援の方向性 生活機能が高くうつ傾向のない対象者に着目して」

第81回民族衛生学会 (2016.11.26～27、女子栄養大学)

ポスター発表

兪今*・安順姫* :「中国の高学歴層高齢者における抑うつの性差とその関連要因」

◆ 講演 ◆

2016年11月19日(土)に開催された横須賀市生涯現役フォーラムで兪今が「幸せのミカタ・心の風邪予防」を講演。

2016年12月13日(火)に田園調布学園大学で開催された高齢者の孤立予防のための心の健康講座で兪今が「老後を楽しむコツ」を講演。

2017年2月2日(木)横浜情報文化センター(6階情文ホール)で開催される神奈川県政策研究フォーラム『「人生100歳時代の設計図」を考える』に澤岡詩野がパネリストで登壇予定。

◆ 寄稿 ◆

澤岡詩野 :「高齢期の居場所に必用なのは「徒歩圏・自転車圏」と「出番」」『住宅 vol.65, 18-23(2016)』(特集「高齢者が住環境を支える」)

澤岡詩野 :「オランダ・イギリスから日本の団塊世代の地域参加・地域貢献を考える」『Geriatric Medicine Vol.55 No.2 (老年医学2017年2月号)』(特集/地域包括ケア時代における高齢者の社会参加・社会貢献)

◆ ダイアル更新 ◆

2016年12月22日に「社会老年学文献データベース(Dial)」の第30回更新を完了しました。新規登録論文数は198件です。

表紙写真について 関東地方の寺院 国宝 木造建造物紹介 - 鏝阿寺 - 本堂 文：榎本奎介

今回は栃木県足利市にある鏝阿寺^{はんにあじ}を紹介します。
JR両毛線足利駅下車、北西方向に徒歩で約15分。

鏝阿寺は室町幕府を開いた足利氏宅跡と伝えられる真言宗の名刹ですが、方形の約二百米四方の敷地に堀と土塁が張り巡らされていることから、鎌倉時代の武家屋敷の面影を伝えており、日本百名城にも選ばれています。

正面の大御堂(本堂)は室町幕府初代将軍足利尊氏の父貞氏が、正安元年(1299)に再建したもので、当時最新の建築様式であった禅宗様建築をいち早く取り入れ、外来の新技術の受容の

あり方をよく示していることが評価され、平成25年8月に国宝に指定されました。

禅宗様は、屋根の重みを受ける「組み物」が柱の上だけでなく柱と柱の間にもあるなど、それまでの「和様」と比べて装飾が華やか。いち早く導入したのが鏝阿寺といわれています。(掲載の一切経堂の写真にその様子を覗うことができます)

なお、鏝阿寺の南に隣接して日本最古の学校といわれる足利学校があります。平成2年には、江戸時代中期の足利学校の姿が復元されました。